

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第5巻第1号

第1週(1月3日～1月9日)

発行年月日:平成17年(2005年) 1月 14日

発行:滋賀県立衛生環境センター内

滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

1)全数報告の感染症(1類～5類)

感染症類型	疾患名	報告数 (1週)	累積報告数		平成16年報告数	
			滋賀 (1週)	全国 (1週)	滋賀	全国 ^{(*)1}
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	0	4	9	576
	腸チフス	0	0	4	2	66
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	3	21	3,640
4類感染症	E型肝炎	0	0	^{(*)2} 31	1	31
	オウム病	0	0	1	1	39
	デング熱	0	0	0	2	45
	マラリア	0	0	0	2	73
5類感染症	アメーバ赤痢	0	0	1	8	580
	ウイルス性肝炎	0	0	2	5	298
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	1	53
	後天性免疫不全症候群	0	0	1	6	1,119
	ジアルジア症	0	0	1	2	85
	梅毒	0	0	2	4	516
	破傷風	0	0	2	2	100
急性脳炎	0	0	^{(*)2} 156	1	156	

*1:平成16年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

*2:平成16年第51週現在の報告数です(iDWR掲載の報告数を参考にしています)。

2)定点把握の対象となる5類感染症

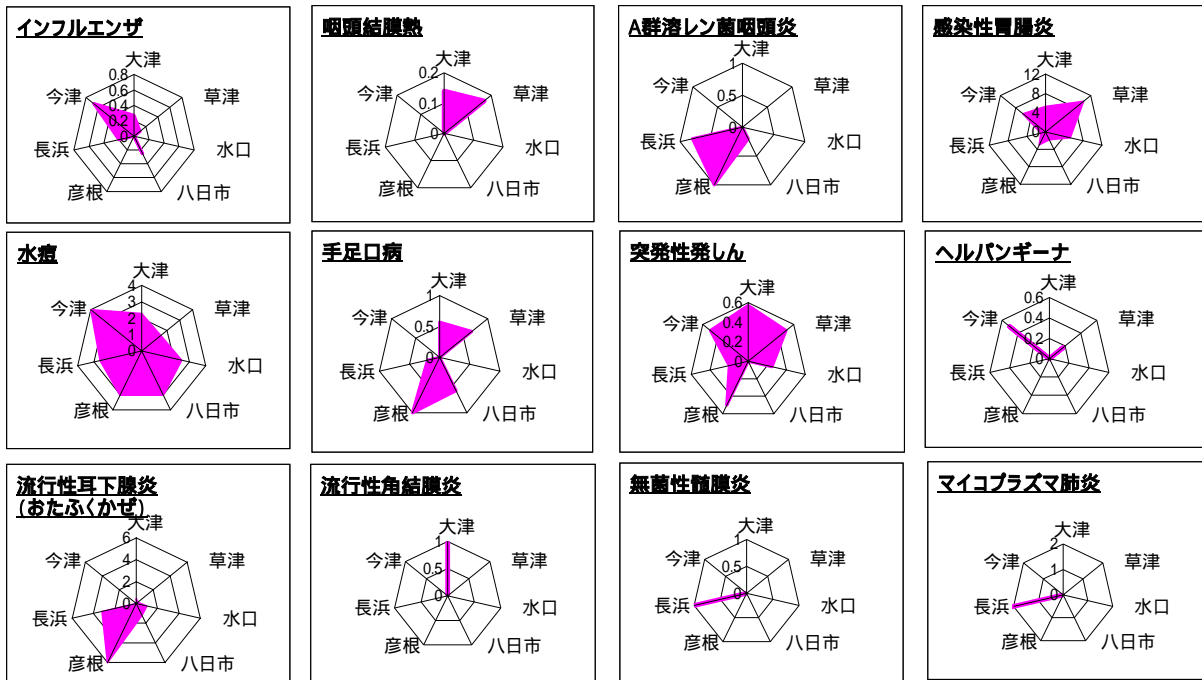
(1)疾病別・週別発生状況(平成16年第49～平成17年1週、H16.11.29～H17.1.9)

疾患名	定点当たり患者数(前週より増加 前週と同じ 前週より減少)										
	49週					50週					1週
	(11/29～)	(12/6～)	(12/13～)	(12/20～)	(12/27～)	(1/3～)	50	51	52	53	1
インフルエンザ	0.02	0.39	0.20	0.25	0.06	0.18					
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0.09	0					
咽頭結膜熱	0.15	0	0.03	0	0	0.06					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.61	0.36	0.70	0.36	0.18	0.27					
感染性胃腸炎	5.61	5.15	6.00	7.39	3.70	4.76					
水痘	1.58	2.97	2.88	2.79	2.39	2.52					
手足口病	0.91	0.94	1.12	0.67	0.48	0.48					
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0.03	0.09	0.06	0	0					
突発性発しん	0.67	0.76	0.58	0.45	0.27	0.36					
百日咳	0	0	0	0	0	0					
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0					
ヘルパンギーナ	0.06	0	0	0.03	0	0.06					
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0					
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.91	1.48	1.24	1.24	0.61	1.64					
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0					
流行性角結膜炎	0.29	0.57	0.14	0.14	0.14	0.14					
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0					
無菌性髄膜炎	0.29	0.29	0	0.43	0.29	0.14					
マイコプラズマ肺炎	0.57	0.14	0.29	0.29	0	0.43					
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0					
成人麻しん	0	0	0	0	0	0					

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第1週、1/3~1/9)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)							
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津
インフルエンザ	0.18	0.27	0.10	0	0.25	0	0.20	0.67
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	0.06	0.14	0.17	0	0	0	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.27	0	0	0	0.20	1.00	0.80	0
感染性胃腸炎	4.76	5.29	10.17	5.25	1.80	3.00	1.00	6.00
水痘	2.52	2.29	1.50	2.50	3.00	3.00	2.60	4.00
手足口病	0.48	0.57	0.67	0	0.60	1.00	0.20	0
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0	0	0	0	0	0	0
突発性発しん	0.36	0.57	0.50	0.25	0	0.50	0.20	0.50
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	0.06	0	0.17	0	0	0	0	0.50
麻疹(成人麻疹を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.64	0.43	0.17	1.00	1.20	6.00	3.20	0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0.14	1.00	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	0	0	1.00	0
マイコプラズマ肺炎	0.43	0	0	0	0	0	3.00	0
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
成人麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況:

保健所管内別の定点当たり患者数は上記のグラフのとおりです。手足口病については大津でやや増加しており、彦根では先週より減少しているものの他の保健所よりやや多く発生しています。インフルエンザについては大津、草津、八日市、長浜および今津から報告されています。また、RSウイルス感染症については今週は報告されていません。

- 全数報告感染症 -

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。これを全数報告の感染症といえます。

* 感染症法: 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

- 定点当たり患者数 -

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。

* 疾患により定点数は異なります。

3) 今週のトピックス

感染性胃腸炎、水痘、流行性耳下腺炎の発生は増加

定点把握の対象となる5類感染症の発生状況は、先週(12月27日～1月2日)の報告数よりかなり増加し、特に感染性胃腸炎、水痘および流行性耳下腺炎が増加しています。また、インフルエンザについては先週より増加しており大部分の保健所管内から報告されています(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフを参照)。

感染性胃腸炎については、先週の定点当たり患者数3.70よりかなり増加し4.76となっておりほとんどの保健所管内で増加しています。草津保健所管内の定点当たり患者数は先週に引き続き多くなっており、水口および八日市保健所管内においては急増しています。全国の発生動向調査においてもノロウイルスによる感染性胃腸炎の発生が増加しているため、感染予防に対する十分な注意が必要です。

水痘については、先週の定点当たり患者数2.39よりやや増加し2.52となっています。特に、今津保健所管内においては先週に引き続き4.00と多くなっています。

流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)については、平成16年第50週以降、減少傾向となっていました。今週は急増し、定点当たり患者数は1.64と多くなっています。特に彦根および長浜保健所管内の定点当たり患者数が、それぞれ6.00、3.20と多くなっています。

感染性胃腸炎の予防について

予防については、**1. 食中毒の一般的な予防法の励行**(注1)、**2. 流行期の手洗いの徹底**(注2)、**3. 患者との濃厚な接触を避ける**

ことが重要です。

特に、ノロウイルス^(*)による場合には、**排泄物や吐物を処理する時にゴム手袋やマスクを使用する**などの十分な注意が必要です。さらに、**2次感染を防止するところ**がけ(注3)も必要です。また、**十分な睡眠と栄養をとり体調を整えておく**ことも大事です。

注1: 食品は十分に加熱調理する。
まな板、包丁、たわし、ふきんなどは、使用前・使用後に熱湯または次亜塩素酸ナトリウム(キッチンハイターなど)で消毒する。
嘔吐、下痢症状等がある時は、食品の調理などに従事しない。

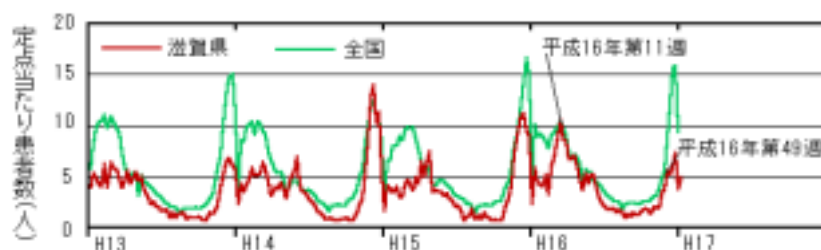
注2: せっけんを使用し、流水で10秒以上十分に指をこするようにして洗う。
手洗いの参考例: 手のひらを洗う 手の甲を洗う 指先、爪の間を洗う 指の間を洗う 親指を洗う 手首を洗う

<手洗いのポスターを滋賀県感染症情報センターのホームページからダウンロードできます。>
<http://www.pref.shiga.jp/e/ef45/bisei/kansen-c/index.html>

注3: 食事の前、トイレの使用後、汚物の処理後などには手洗い消毒を励行する。
手を拭く時は、清潔なタオル、ハンカチを使い共同では使用しない。
症状がある時は、早めに医療機関に受診する。

(*) ノロウイルス:
R2SVまたは小型球形ウイルスと呼ばれていたウイルスで、現在はノロウイルスというウイルス名称になっています。

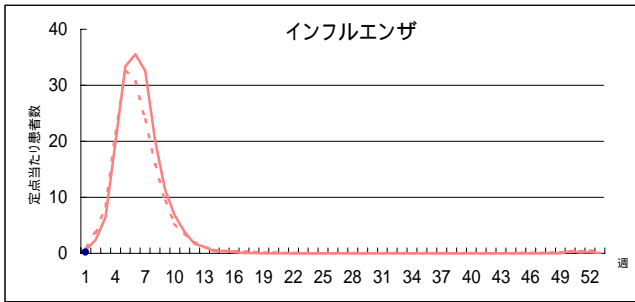
感染性胃腸炎の年別定点当たり患者発生状況(平成13年第1週～平成17年第1週)



感染性胃腸炎の平成13～17年の発生状況は上記のグラフに示すとおりです。平成16年第11週(3/8～3/14)以降は全国とほぼ同様の発生状況を示していましたが、平成16年第49週(11/29～12/5)からは全国における発生が急増しています。また、滋賀県における過去数年間の12月～1月(第1週)の発生状況を比較すると、平成16年12月～平成17年1月(第1週)における発生はやや少なくなっていますが今後の発生動向に注意する必要があります。

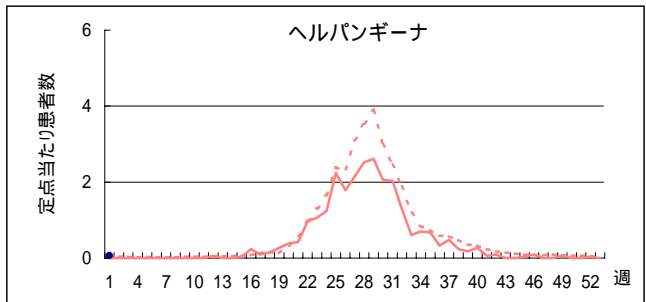
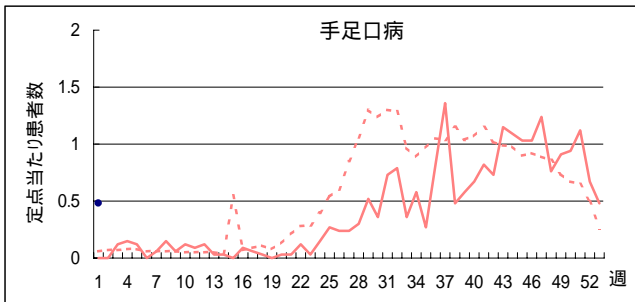
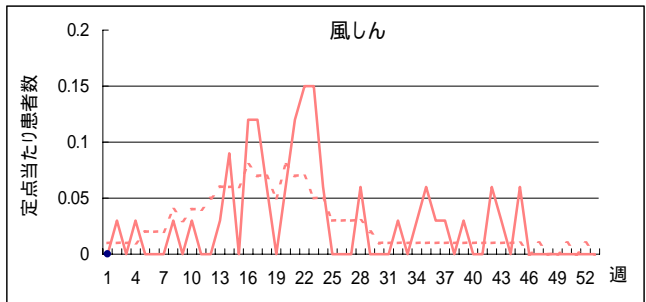
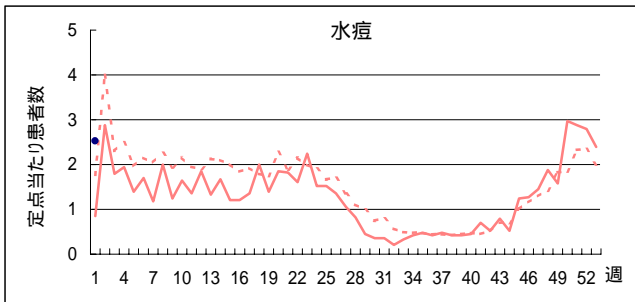
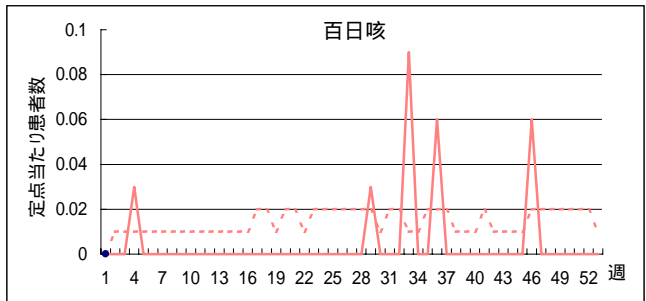
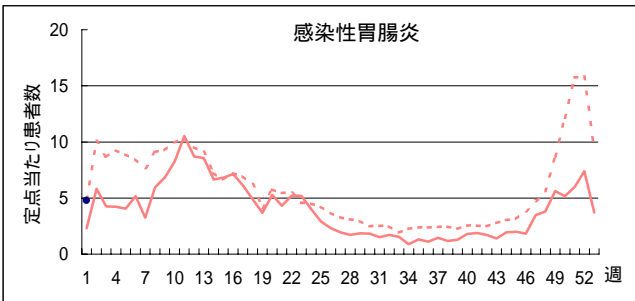
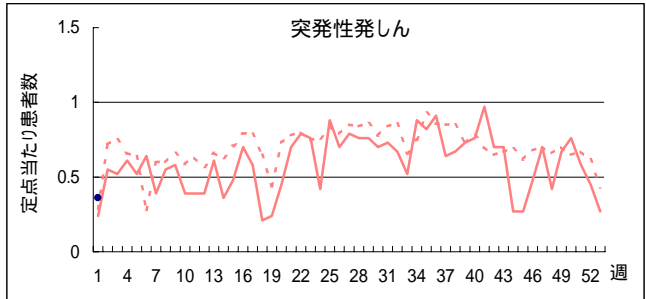
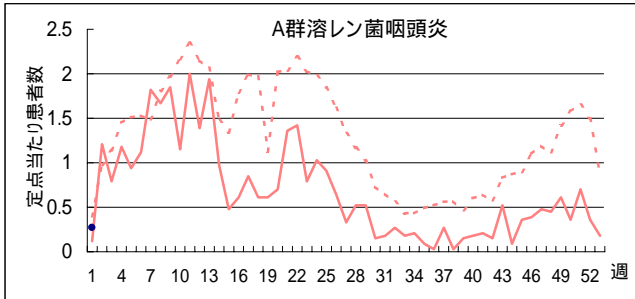
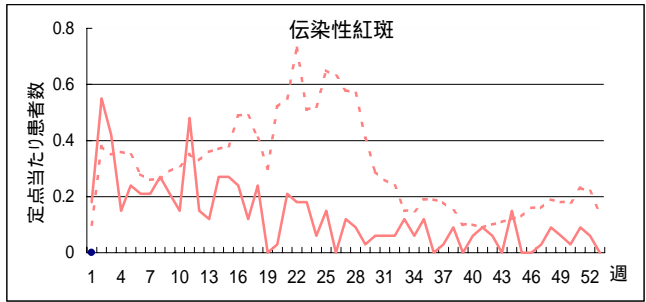
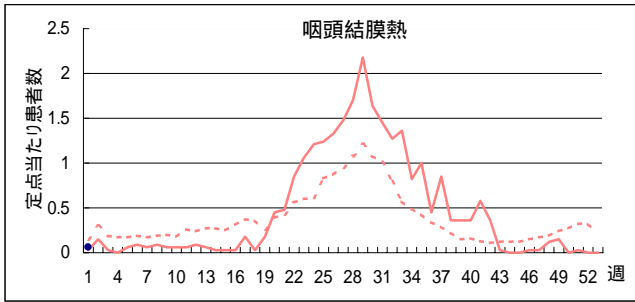
全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**(<http://idsc.nih.gov.jp/index-j.html>)において公表されています。

疾病別定点当たり患者数(平成17年第1週、H17.1.3~H17.1.9)



* 平成17年1週のデータはグラフには、・として表示されています。

H16 { 滋賀 ————
 全国
 H17 { 滋賀 ●——●
 全国



疾病別定点当たり患者数(平成17年第1週、H17.1.3~H17.1.9)

*平成17年1週のデータはグラフには、・として表示されています。

H16 [滋賀 ———— 全国] H17 [滋賀 ●——● 全国]

